

平成23年度 第三者評価 評価結果

種 別	認定こども園
事業所名称	羽根木こども園
評価機関名称	株式会社 学研データサービス
評価実施期間	2011年8月3日～2012年2月20日

全体の評価講評

特に良いと思う点

地域の子育て支援活動に積極的に取り組み、地域の方々に喜ばれています

園では、地域の子育て支援活動に力を入れています。在宅で子育て中の家庭の親子を対象に、園で楽しく遊べる機会を提供しています。毎週、月曜日と木曜日には園庭を開放して、親子に遊んでもらっています。また、育児サークル「いちご組」は、月2回程度、製作遊びやリズム遊び、体育遊びなどを行っています。いずれも要請があれば、子育て相談にも応じています。ときには、人形劇の観劇会や特別企画としてチェロの演奏会も開催しています。このように、積極的に取り組むことで、地域の親子をはじめ地域の方々に喜ばれています。

今までの教育・保育の方針を変えることで職員の育成に努め、園内改革を進めています

今年度新たに就任した園長が、今までの方針を変えて、子どもたちの自主性や主体性を大切に子ども中心の保育に切り替えました。職員もはじめは戸惑っていましたが、少しずつ受け入れています。園長は職員との面談を増やして、新たな取り組みへの職員の理解に努めていますし、研修も倍増させて職員の能力向上も図っています。こうした取り組みにより子どもたちの遊びも変化してきています。今後、もっと大きな成果となって表れてくることでしょう。

当園の「教育・保育課程」は地域の実態を反映したものになっています

「教育・保育課程」は3年前に作成し、毎年、職員が話し合い修正を加えてきました。今年度の「教育・保育課程」を拝見しますと、より地域の実態を考慮したものになっています。例えば、育児相談事業、早朝保育や延長保育の実施、子育て家庭への支援（園庭開放、体験保育、一時預かり保育など）が記載され、地域の保護者の就労状況や子育て中の親子の要望に応えるものになっています。なお、こども園の特性を保護者に十分理解いただくために、入園時に園長から「教育・保育課程」の骨子を保護者に説明しておくことも必要です。

さらなる改善が望まれる点

就学へのスムーズな移行に向け、さらなる取り組みを期待します

小学校に入学すると、こども園時代と違った生活が待っています。一定の時間、いすに座って先生の話聞くことが求められます。また、友だちとうまくコミュニケーションをとることも必要です。園ではクラスという単位で職員の話聞くなど、まとまりも出てきました。しかし、集団が園全体となると多少落ち着きに欠けたり、まとまりに欠けたりする部分も見られます。小学校への円滑な接続のために何が必要か、考えていくことが求められます。特に5歳児は就学を目前にしていますので、より一層細やかな指導と工夫を期待します。

職員のやる気向上を図るために人事考課表を整備されることを望みます

職員のやる気と働きがいの向上には、職員の業績を適正に評価するしくみが必要です。いくらがんばっても正当に評価されなかったり、給与に反映されていなければ、職員のやる気と働きがいの向上にはつながりません。現在、園では社会保険労務士の方をお願いして、「人事考課表」の作成に取り組んでいます。いずれ「人事考課表」に従って、人事考課をするのでしょうが、その考課の基準を職員に示すことが必要です。早めに環境を整えて、取り組まれることを望みます。

絵本コーナーの設置場所、設置のしかたについて見直しされることを望みます

子どもの絵本は各保育室に用意していますし、廊下に図書コーナーを設置して、たくさんの絵本や図鑑を収納しています。しかし、図書コーナーは狭くて暗いので、利用されにくい状態です。保護者アンケートの「お子さんの発育や意欲を促すような図書・絵本があることを知っていますか」の項目でも、保護者の周知度は低いようです。絵本や図鑑は、子どもの心を育て知識を獲得するうえで貴重な文化財となります。園が目指す子どもの自主性や主体性を育むための格好な教材ですので、せっかくの財産を有効に活用するために環境を整えてはいかがでしょうか。

事業者が特に力を入れている取り組み

事業者が特に力を入れている取り組み①

評価項目	カテゴリー5	職員の質の向上に取り組んでいる
タイトル①	外部の活力を園内に取り入れ、職員の能力向上を図っています	
内容①	<p>教育・保育サービスを提供するのは職員です。そこで、園では職員の育成に力を入れています。園内および外部の研修も大幅に増やしています。職員の自己評価表でも、研修会に参加する機会が増えたことを歓迎しています。実際、研修受講回数は昨年と比べて倍増しています。また、園内研修を充実させて、こども園を立ち上げた経験をもつ先生をアドバイザーに招き、毎月実施しています。こうして、外部の力も取り入れた計画的な職員の育成に取り組んでいます。</p>	

事業者が特に力を入れている取り組み②

評価項目	カテゴリー6	さまざまな取り組みにより、業務の一定水準を確保している
タイトル②	付せんを活用した、園長による助言や指導が日常的に行われています	
内容②	<p>日々の保育内容については、それぞれの担当職員がクラス日誌をつけています。そして、園長はそれを毎日点検しています。担当者が詳細に記述している日誌に、園長は付せんで細かいアドバイスをを行い、それが日常的に行われています。職員はそのアドバイスを謙虚に受け止め、その後の保育に生かしています。現在、園長がこの4月から変わったことで、話し合いや相談をする機会が増えてきているとのことでした。こうした職場内指導に力を注ぐことで、保育サービスの向上につなげています。</p>	